

令和3年のスタートです。

今年も看護部は、「一つ屋根の下にいる患者さんを皆で看る」を合言葉に、一致団結でがんばりましょう。



「アンフィニ」2021年新春号掲載

皆さんアンフィニ読みましたか？

熊本県看護連盟会長矢野メリ子氏と大平看護部長との対談が掲載されています。看護部の日頃の取り組みが載っています。

必ず読んでくださいネ！

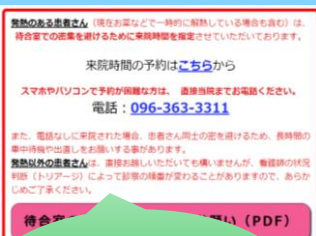
年末年始業務お疲れさまでした。

今年は、コロナ禍で迎える初めての年末年始体制でした。救急外来では「発熱外来ブース」を設けて感染対策を強化して臨みました。また、発熱外来受診者をホームページ上のWebや電話で予約受付を始めたことも新たな取り組みでした。病棟も例年になく、病院で過ごされる患者さんが多かったのですが、各看護単位の連携が取れていました。トラブルなく無事に終えることができた要因の1つには、コロナ禍による制限はあるものの、日頃からの縦横無尽な協働体制の「一つ屋根の下」が発揮された結果だと思います。寒い中で、事務の方々も外来の最前線に立ってお疲れさまでした。

今後もコロナ禍での診療体制は、残念ながら続くと思われます。気を引き締めて寒さ対策を取りながら、「地域医療センターチーム」で、乗り越えましょう。



夜遅くまで、急ピッチで「発熱外来ブース」を設置してくださった、施工会社の皆様、ありがとうございました。



Hp上で「発熱外来」の予約ができます。



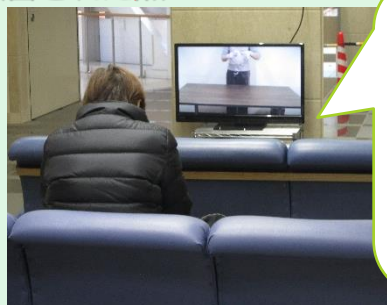
寒さ対策の「地域医療センターのロゴ入りブルゾン」活躍しました。

コロナ禍によるかかってよかった戦略 (1月ラウンド評価)

注意すべき点

- ・新型コロナウイルス感染症の広がりが懸念される現状において重要な、「行動履歴チェック表」の未記入がありました。「コロナを入れない、出さない」ためには、個人の衛生管理の意識が大切です。徹底をお願いします。
- ・10時、14時の「感染対策や清掃活動」についての患者さんへのアナウンスは、徹底されていました。しかし、前回も指摘した病室清掃終了や未入室時のチェックのサインもれがありました。

改善された点



入院患者さんが病棟からのお迎え待ちの間、「手指消毒法」や「効果的なマスク装着」についてのDVD放映を開始しました。病室でも観れるように、近く開始予定です。(12チャンネル)



明るくハキハキとしたアナウンスができていました。